

深川東京 *fukagawa.tokyo.modankan.news* モダン館だより

100円で深川めし

共催：深川めし振興協議会

東京の郷土料理「深川めし」を 100 円で味わってみよう

2月25日（日）11：00～15：00

オーソドックスなぶっかけから炊き込みまで、
深川めし振興協議会加盟店の味を
100 円でお試しいただけます。

300 食限定（試食サイズ）



※写真はイメージです。当日は試食サイズでご提供します。

2月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3 ふかにこカフェ	4
5 休館日	6 おきがる講座	7	8	9	10 コドモアソビ	11
12	13 休館日	14	15	16	17	18
19 休館日	20	21	22	23 おきがる講座	24 落語会	25 深川めし
26 休館日	27	28				

開館時間 10：00-18：00（金・土曜日は19時まで）

喫茶にちようの営業日は <http://nichiyou.net/wp/> をご覧ください

2月の催し

共催 第360回

圓桶の会

2月24日（土）15時～

（開場14時半）

三遊亭圓桶

しおばら たすけ いち だい き

一、圓朝作 塩原多助一代記

“江戸のエコノミスト”

予約 2,500円 当日 2,800円

※お申込みはお電話 03-5639-1776 または info@fukagawatokyo.comまで



共催

ふかにこカフェ

2月3日（土）①11時～ ②13時～

「食、絵、歌」のプロが集結し「見て、触って、歌って、感じて、味わう」という新しいタイプの体験型紙芝居

参加料 おとな 1000円 こども 500円

申込期間：1月25日（木）～

メール → fukanikocafe@gmail.com お電話 → 03-5639-1776

子供 20人まで ※対象年齢 0歳～小学生まで ※要保護者同伴
※大人には1ドリンク、お子様には素敵なおかしのプレゼントあり



★参加アーティスト★
シンガーソングライター YUKKIY
イラストレーター Reap
フードコーディネーターしらいのりこ
and more...



主催

Salondeふかがわ

おきがる講座

コーヒー・お茶を飲みながら
江東区の歴史についてお話しします

2月6日（火）14時～15時半「古石場川」再

2月23日（金）14時～15時半「松平定信と海荘」
はまやしき

講師 龍澤潤（深川東京モダン館）

両日とも 料 金500円（1ドリンク付）
予約不要・定員30名

主催

こどもアビ

2月10日（土）14時～16時

ベーゴマまわそう！
おりがみおろう！
みんなあつまろう！

参加無料



教える人 ベーゴマ：鈴木祥元さん
折り紙：高橋勝美さん



「辰巳新道」の呼称の謎!?

前回、「ボランティアガイドだより」に拙文が紹介されてから早いもので4年の月日が流れていった。その間、残念ながらガイド技術の向上は余り望めず、いつもアップアップの状態続き。2020年の東京オリンピックまで1000日を切ったというのにね・・・。

そんな折も折、私がガイドになりたての頃に当館を訪れ、深川やお隣り中央区の浜町周辺の昔話を丁寧に語って下さったお客様のS氏から久々に電話を頂戴した。何でも昨今体調を崩された由。今ではもう愛車の自転車にも乗らず、御自宅にこもりがちとか。よし！この際、楽しくお喋りして少しでも元気になって頂こう！

電話口で雑談の合間にかねてより疑問に思っていた「新道」の話を彼に振ってみる。御存知・深川にある超昭和レトロな飲み屋街「辰巳新道」——。この終戦直後に誕生した小路をガイドの多くは「たつみしんどう」と呼び御案内もしているが、S氏によれば『たつみしんどう』なんて呼び方はトンネルじゃあるまいし、野暮なこったあ！と舌鋒鋭く、爽やかで歯切れの良い江戸弁でバツサリ！

因みにS氏の御自宅は中央区にあり、近くには日本橋堀留町の「三光新道」や「コレド日本橋」の側面にある飲食店街「食傷新道」など華の大江戸の昔から呼称されている小路が今でも残っている。いずれも「さんこうじんみち」「しょくしょうじんみち」と、何故か「し」ではなく「じ」の濁音で発音されている点が面白い。

念のため『広辞苑』を調べてみると、「新道」を「しんみち」或いは「じんみち」と濁音で発音し、その意味は以下の如し。

- 新道 ① 新しく作った道 ② 町屋の間の狭い道
③ 小路 ④ 新開の道路

だが待てよ・・・私は神奈川県横浜市出身で中学に入った頃には「横浜新道」という新開の有料の国道が既に誕生していた。こちらは「よこはましんどう」と人はこぞって発音しているが、「じんみち」とはどう具体的に違うのか？

今度は『大辞林』で新道を「しんどう」の読みで調べると、こちらも①新しく作られた道 ⇔ 旧道と出てくる。

更にネットを検索すると、●函館新道●札幌新道●室蘭新道●釧路新道などなど、北海道ではバイパス道路の固有名詞に「新道」→「しんどう」と名付ける傾向が強いとか。

そして関東に下ってくると、道内と同じ呼称「しんどう」の●逗葉新道●横浜新道と続き、やがて関西に至ると●梅田新道●四国新道は「うめだしんみち」「しこくしんみち」と、何故か今度は「しんみち」に変わってくるのだ。但し、「し」に濁点はない。

そこで私の推理するところ、江戸期に伊勢・摂津など関西勢の移住が多かった日本橋周辺は風習等もその影響が色濃く残り、「新道」→「じんみち」の呼称が残ったのではないかと。

更に「じんみち」という呼称の存在は江戸っ子の発音上の問題ゆえか。つまり「ひ」と「し」が旨く発音できぬ結果、「し」に濁点を付けて「じ」と楽に呼称させたのではなかろうか？

そして戦後に誕生した「辰巳新道」は新参ゆえ、関西色には染まらず、新道（しんどう）になったのでは？ おっと！この辺で紙面も一杯！ 私の妄想タイムも終わりにしよう。



(文 江東区文化観光ガイド 吉田 瑠子)

深川東京モダン館では、江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。 ※諸事情によりガイド不在の場合もございます。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクターコトミちゃんグッズ各種
- ・江東区の名所を描いた絵はがき（水彩・切絵・写真）
- ・一筆箋各種
- ・Tシャツ、てぬぐい
- 江戸切子、ICカード入れ
- もくレース、深川めしの素
- ランチョンマット、
- 甘酒（冬季限定）など

喫茶にちよう

深川東京モダン館2Fで不定期に営業している喫茶店です。美味しいコーヒーと米粉スイーツ、そしてきまぐれカレーランチをご用意しております。

※<http://nichiyou.net/wp/>

営業時間：11 時半～14時
メニュー

- ・にちよう珈琲 300円
- ・にちよう紅茶 300円
- ・カレーランチ 800円～
- ・カレーセット 1000円～

百圓珈琲

深川東京モダン館 1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております（「喫茶にちよう」の営業日のうち土日を含め）。ホットコーヒーの「小樽」と「ペイキャメル」2 種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10：00-18：00（金・土曜日は19時まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



Crocus

「深川東京モダン館だより」第63号（平成30年1月26日）

発行 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

